

## リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

(公社)応用物理学会  
教育企画委員会 委員長殿

2022年11月17日

<b>開催支部または分科会</b> (支部・分科会以外に共催がある場合はすべてお書きください) : 応用物理学会東北支部
<b>開催責任者</b> (支部長または分科会幹事長) : 百生 敦 公印略
<b>開催連絡責任者</b> : 大兼 幹彦
<b>連絡先</b> : 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05 TEL 022-795-7946

下記のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支を纏めてご記載, もしくは会場毎収支のご記載, どちらでも問題ありません。  
会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上, ご報告ください。オンライン会場と  
対面実施会場は該当ページを複製し, 分けてご報告ください)

<b>事業名</b> : リフレッシュ理科教室—どこまでも続くよ!光のトンネル— 自宅でリフレッシュ理科教室 (無償教材配布)	
<b>リフレッシュ理科教室補助金額</b> : 124,000 円	
<b>開催日</b> : 2022年7月17日から2022年10月31日まで	
<b>開催場所</b> : 東北6県 (宮城、福島、岩手、山形、秋田、青森)	
<b>決 算</b> (収入合計と支出合計は同額になります) (単位: 円)	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 : 124,000	印刷製本費 : 184,503 (資料・チラシ作成等)
参加費 : 0	賃借料 : 111,396 (会場費・プロジェクター等)
広告展示料 : 0	旅費 : 14,520
支部分科会からの支援金 : 41,783	通信運搬費 : 4,808 (郵送料等)
企業からの協賛金 : 267,000	消耗品費 (実験材料・文具代等) 429,286
助成金 (県・市など) : 0	臨時雇賃金 【支払人数計12名】 (アルバイト賃金等) 162,000
応用物理学学術・教育奨励基金 : 480,000	諸謝金 【支払人数計0名】 (講師謝礼等) 0
	システム利用料 (ZOOM, Webex 他) 2,200
	基金への返金 (or 支部・分科会への戻入れ) 0
	その他 (振込手数料他) 4,070
合 計 912,783	合 計 912,783

決算報告書は, 支部 (分科会) 会計後 1 か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛へ  
各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要で  
す)。講師謝礼金やアルバイト代については, 支払人数を必ず記載してください。

## リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面およびオンライン)

以下のとおりご報告いたします。

<b>事業名</b> ：リフレッシュ理科教室—どこまでも続くよ！光のトンネル— 自宅のリフレッシュ理科教室（無償教材配布）	
<b>開催日</b> ：2022年7月17日から2022年8月22日まで 2022年9月1日から2022年10月31日まで	
<b>開催場所</b> （同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください）： 宮城：7/17@東北大学， 福島：7/24@日本大学/オンラインハイブリッド， 岩手：8/6@イオンモール盛岡， 山形：8/9@オンライン， 秋田：8/10@秋田大学， 青森：8/22@オンライン	
<b>参加者人数</b> （スタッフ以外の参加者を記述してください）： <u>合計 255名</u>	
内訳	<u>リフレッシュ理科教室</u> ① 児童・生徒： 175名 ② 保護者・一般： 11名 ③ 教諭等： 1名  <u>自宅のリフレッシュ理科教室</u> ① 児童・生徒： 68名
<b>内容</b> （委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。）  <u>開催内容</u> 応用物理学会東北支部では、普段の生活のなかで、何気なく見たり使ったりしている物事に対し、それらの仕組みはどうなっているのか？その仕組みはどのように世の中に役立てられているのか？を小中学生やその先生方が考え、学ぶ機会として理科教室を毎年開催している。学校などではなかなか実施できないような内容の科学実験を体験できる教室を目指している。特に、科学技術の将来を担う子供たちが、科学に対する興味や知的好奇心を高め、実体験を通じながら、飛躍するきっかけになることを目的として工作の内容を考えている。今年度は、「どこまでも続くよ！光のトンネル」と題して、ふしぎなカガミとLEDを使った、無限にLEDが光っているように錯覚するトンネルの工作を行った。低学年の方でも楽しめるように工夫し、鏡およびハーフミラーの仕組みを理解できるような教材とした。また、工作のみならず、仕組みの理解を補助するためのテキストの作成、および、動画コンテンツの制作を行った。動画コンテンツについては、東北工業大学の意匠クラブと協力して制作することで、非常に親しみやすい動画に仕上がった。制作した動画は、東北支部のYouTubeチャンネルで視聴することが可能になっている。今年度は東北6県すべてで理科教室を開催したが、各県の感染状況を鑑みながら、対面/オンライン/ハイブリッドを柔軟に使い分けて教室を実施した。 また、昨年度に引き続いて、対面で参加することが難しい方を対象にし、自宅でも理科教室が体験できるように教材の無償配布事業を行った。遠方(最遠方は広島県の方)の小中学生からも申し込みがあるほど盛況であり、10月末には予定していた教材の配布が完了した。工作動画を準備したことで、保護者の方のサポートがある程度必要であるものの、十分に教室を楽しんでいただくことができた。	
<u>工夫点</u> ・状況に応じて対面/オンライン/ハイブリッドと開催方式を選択した。 ・オンラインツールはZoomとし、ブレイクアウトルーム機能を利用することで 工作の進捗度合いに応じて柔軟に部屋を分けて指導を行った。 ・工作動画を教室前に事前に準備することで、オンラインでも工作をスムーズに進められた。 ・工作動画は東北工大の意匠クラブとの共同制作であり、学生目線の非常に親しみやすい動画の仕上がりとなった。 ・教材の無償配布事業では、テキストや工作動画を分かりやすく作成することで、小学生だけでもある程度工作が出来るように工夫した。	

実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後1か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長

・**分科会幹事長**にCCで共有の上メール添付（WORD形式）にてご提出ください(原本不要です)。リフレッシュ理科実施報告書